

1977 10/20 No. 71

新潟県三島郡寺泊町役場発行 総務課編集



スポーツの秋

10月10日は体育の日
寺泊小学校では駅伝大会が行われ
子ども達は一生けんめいの力走
お母さん達の応援も過熱さみ?でした。

交通安全は
みんなの願い
交通ルールを
守って下さい。
—交通安全対策協議会—

町の人口

10月1日現在	
人口	13,775 (+ 2)
男	6,646 (+ 2)
女	7,129 (± 0)
世帯	3,033 (- 2)
()内は前月比	

- ### 主な内容
- 九月定例議会から……… 2
 - 本山保育所新築きまる 2
 - 夏戸小も移転新築……… 3
 - 交通指導隊発足……… 4
 - 「寺泊・出雲崎」発行…… 5
 - くらしの中に
 - スポーツを……… 6
 - 駅伝大会結果……… 7
 - シンナー類乱用防止……… 8

季節の話題

月下氷人

十月は結婚シーズン、そこで、結婚式で重要な役目をするのが媒酌人——つまり月下氷人です。

お仲人さんをなぜ月下氷人というのか、中国の古い伝説はこう説明しています。

昔中国に学問もあり真面目な青年がいたが、内気なためガールフレンドが得られなくて悩んでおりましたが、ある日夢の中で自分が氷の上に立っていて、氷の下にいる若い娘と語らっているうちに結婚の約束をしました。ところが夢がさめてみるとほろ苦い思いだけが残っているそんなある日、町で夢の中の人とそっくりな娘さんを見かけ、今度は積極的にアプローチしましたが、この二人を結びつけたのが月の夜の氷の下にいた娘だったことから媒酌人を月下氷人とロマンチックと呼び方をします。

恐るるるシンナー類 乱用をひびかるる癌人

さくさくさくさく

塗料類を溶かすときに使用されるシンナーや工作などに使われる接着剤には、有機溶剤といわれるトルエンチルなどの人体に有害な化学薬品が含まれており、「シンナー遊び」と称してこれらをかぐ・非行が流行し、今までに県内で一五〇〇人近くの少年が警察に補導され、これらの吸入乱用による死亡者は十人余りを数え、更にこれが原因で罪を犯したり精神障害をおこした者は数しれず、青少年の健全な育成を大きく阻害するなど重大な社会問題となっています。

このような現状から新潟県としては、県知事を本部長とした「新潟県薬物乱用対策推進本部」(事務局県薬事衛生課内)を設置し、これらシンナー類乱用による被害の絶滅を期しておりますので、町民のみなさんにおいても、次のことに留意され、シンナー類及び覚せい剤から青少年を守る運動にご協力下さい。

◎シンナー類を乱用するとうるか

- 頭痛、吐き気、不眠、食欲不振。
- 幼覚症状により、物をこわすなどの乱暴をする。
- 羞恥心がなくなり、破廉恥な行為を平気でする。

◎販売店では……その用途を確認してから、有害性、危険性、取扱方法を説明し、不審な者及びその取扱いに不安がある者には販売しないようにしましょう。

◎家庭では……我が子に限っての安心はせず、日頃から子供の態度、行動、友人関係などに十分注意して下さい。

◎みなさんをお願いしたいこと

- 乱用を続けると自分を押える力がなくなり、犯罪を犯す。
- 内臓や呼吸器がおかされ、また、精神障害をおこし廃人となる。
- これは、シンナー類の主成分に強い毒性があるためです。

将棋セット40組を寄贈

寺泊町将棋愛好会 吉田仁志氏(分水町)

このたび、寺泊町将棋愛好会(会長河合朝吉氏)と分水町(ヨシタ社長吉田仁志氏)から寺泊町公民館に将棋盤(桂四寸)、駒、駒台四十組の寄贈がありました。これは、近年将棋道のめざましい普及と健全な娯楽と友好的な人間関係を推進するために町民の皆さんがいつでも気軽に将棋に親しんでいたこととして、寄贈されたものですが、公民館では、さっそくこの趣旨に対し、社会教育活動の一環として、いつでもご利用いただけるよう貸し出し準備を進めております。なお、希望者は一報下さい。

善意ありがとうございます

全国防犯運動

10月27日⇒11月2日

『お出かけはひと声かけて カギかけて』

十月二十七日から十一月二日まで、警察及び民間が一体となって全国いっせいに防犯運動が実施されます。

近ごろ、寺泊町でもアキスヤドロボーなどの犯罪がひんぱんに発生しています。出かけるときは隣近所に一声かけ、戸じまりをしつかりしてから出かけるなど、この機会にも一度防犯に対してみなおして下さい。

▼運動の重点

- 侵入盗の防止
- 自転車盗の防止

主催者の声かけ、宣伝だけでは本当の防犯にはなりません。地域ぐるみ、会社ぐるみでみんなが犯罪から自分を守り、地域を守る輪を広げることが大切です。

九月定例議会

補正予算 などを審議

議員・特別職の 報酬・給与を アップ

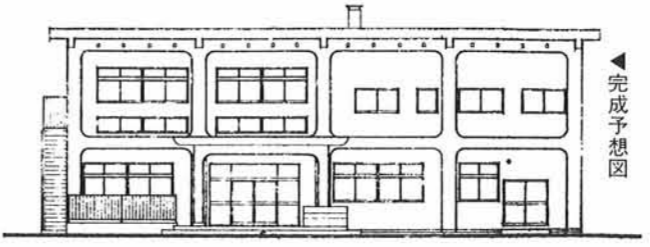
九月定例町議会は、九月二十一日から会期十一日間で開催され、十月一日をもって全日程を終了いたしました。

今議会では、町長提出議案十四件、請願一件などが審議されましたが、このうち主なものは、本年度一般会計の補正予算、条例の一部改正、水道事業会計の補正予算、教育委員の任命、本山保育所建設工事請負契約の締結、五十一年度各会計の決算などであり、決算については、特別委員会を設置し、継続審議となり、請願一件についても継続審議されることになりました。

したが、他の案件はいづれも議決されました。

今回の一般会計補正予算ですが、四千六百七十四万九千円が追加され、予算の総額が十四億三千七百九十一万八千円となりました。

この補正予算は、本町特別職報酬等審議会の答申に基づき、町長以下三役、議会議員、教育長等の報酬、給与について平均九・五割引き上げることとし、これに必要な経費を計上したほか、本山保育所の建設費、道路改良費、高校用地整備など、当面必要とする経費が追加計上されたものです。



本山保育所新築決まる 来春には完成!!

井波文映さん(神奈川県在住)のご好意で留守宅を活用してはじめられた本山保育所が、このたび一三九八万円の県費補助がきまり、建替工事をするようになりました。

こんど新しく建てられる保育所は、総工費約五千万円、鉄筋二階建て、三六三平方メートルのモダンな保育所となり、現保育所のすぐなりに建設され、来春には竣工の予定です。

同保育所は、開設以来、寺小屋保育できましたが、年々父母の共働き現象が進むにつれ、入所幼児も増加し、今のままでは手せまとなり、危険な状態になったことと地域住民あげての強い要望もあり、



つてこのたび建て替えられることになったものです。

竣工の来年四月以降は常設保育所に移行し、名実ともに新しいスタートをすることになっています。

夏戸小学校も 移転新築決まる

すでに整地工事に着手

昭和五十三年度から夏戸小学校の全面移転新築工事が開始されることになり、五十四年度には完成させたいとしています。

町では、すでに土地買収も終り約九百万円をかけ、農免道路脇に学校用地一万六千平方メートルの整地工事に着手しております。

（9月18日撮影）
整地工事が着手されました



現在の夏戸小学校は、古い部分も昭和三年に建てられたもので、国の基準では危険校舎に指定されかならずしも満足な教育環境ではなかったことですが、こうしたことから地域の強い要望もあつてこのたび全面新築することになりました。

新しく建てられる校舎は、まだ設計作業に入っておりませんが、構想としては鉄筋コンクリート三階建てのモダンなものとなり、いまのものより広くなる予定です。

監査委員に 近藤丈夫氏(学識経験)

小黒東伍氏(議会選出)

去る六月一日、病床にあつた前田貞治代表監査委員が逝去されたことにともない、六月定例議会においてその後任に近藤丈夫氏(白岩一)が、議会の同意を得て選任されました。

がその後任として、同じく議会の同意を得て選任されました。



▲近藤丈夫氏

新有権者を登録

選挙管理委員会では、九月一日現在で登録資格を調査し、九月十日に新しい有権者を永久選挙人名簿に登録しました。

この登録は、公職選挙法によつて、毎年九月に定時に行われているもので、今年も昭和五十二年九月二日以前に生まれた人で、昭和五十二年五月一日以前から引き続き寺泊町に住所のある人がこの対象となりました。

この結果、当町の選挙人名簿登録者総数は次のとおりです。

- 昭和五十二年九月十日現在
- ♡男 四六二八人
- ♡女 五三二五人
- ♡計 九九五三人

交通事故 移動相談所



♡とき 10月27日(木) 10時から3時まで

♡ところ 町体育館第二会議室

♡相談員 県交通事故相談所係員

料金は無料で秘密はもれません。お気軽においで下さい。

検察審査会の活用を



「交通事故、詐欺その他の犯罪で被害を受けたのに、検察官が犯人を裁判にかけなかったのは、ふにおちない。」

「選挙違反や汚職等で大きな疑惑がもたらされた事件なのに、告発しても検察官が起訴しなかったのは納得できない。」

こんな不満をお持ちの方は、お気軽に検察審査会事務局にご相談下さい。相談や審査に費用はいっさいかかりません。

審査会は、各市町村の選挙人名簿からクジで無差別に選ばれた十一人の審査員が、民間人を代表し住民としての健全な良識に従つて検察官の捜査のあとを調べなおしてくれる民主的な機関です。

長岡検察審査会事務局
(電話〇二五八―三五―二四一)



寺泊町文化祭

町教育委員会主催の文化祭が次のとおり開催されます。

♡とき 11月3日(文化の日)

♡ところ 寺泊町体育館

どうぞおさそい合せて、多数おいで下さい。

戦没者合同慰霊祭

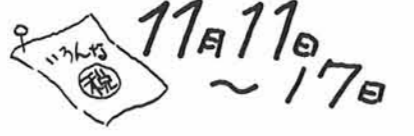


昭和五十二年年度の戦没者合同慰霊祭が次のとおり行われます。

▽とき 10月25日(火) 午前10時

▽ところ 寺泊町体育館

「税を知る週間」



税金は、皆さんの日常生活の中でいろいろな面にかかりあひを持っています。

そこで、生活と深いつながりを持っている税金について、皆さんにその行方や仕組みを正しく理解していただくため、十一月十一日から「税を知る週間」が実施されます。

この期間中、税務署では巡回税務相談、座談会、租税教室など各種の行事を行います。皆さんもこの機会に大いに税の知識を吸収してください。

福祉電話機を扱っています



電話局から

♡シルバーホン(あんしん)

一人暮らしのお年寄りなどに安心して毎日を送っていただくための電話機です。

♡シルバーホン(めいりょう)

難聴など耳の不自由な人でも大きく、はっきりと聞ける電話機です。

このほか、フラッシュベル、シルバーベル、盲人用ダイヤル盤なども扱っています。

詳しいことは、寺泊電報電話局
(TEL三〇〇番)

へお問い合わせ下さい。



—水道課—
村部地域のメー
一検針を毎月実施

今まで村部地域は2カ月に1回の隔月検針でしたが、10月から毎月検針を行います。また、料金をこれに合わせて毎月精算させていただきます。

料金納付書の宛名がカタカナに変わります。

10月から水道料金の計算が事務の能率化をはかるため電算処理になりますので、毎月皆様へお届けしている納付書の一部が変更、住所、氏名がカタカナになります。(名前などがまちがっておりましたらご一報下さい)

◎水道会計は料金の収入で経営しております。料金は納期限までに納入して下さい。

交通指導隊が発足

ただいま活動中



▲この夏 交通整理でたいへんでした

運転者をはじめ、通学児童やとしより、自転車乗りなどに、正しく交通ルールを守ってもらい、交通事故を防ごうと、寺泊町交通指導隊が発足し、現在活躍しています。

この交通指導隊は、町内各地区から、日頃交通安全に積極的に取り組んでいる方々の中から七名の方を選び、町長が任命したもので、条例に定められた非常勤特別職です。

この春にスタートして以来、街頭指導や海水浴シーズンの交通整理、地域での交通安全思想の普及徹底など、警察官と似た制服制帽を着用し、交通指導の活動をしてきました。

発足して、まだ半年しか経ていないため十分な活動ではないのですが、これからいろいろ研究を重ね、寺泊町から交通事故を無くしようと張りきっています。

なお、隊員は次の方々です。
寺泊町交通指導隊
代表隊員 納谷久蔵(坂井町)

自転車乗りには白キップ

あなたは

ルールを

守っていますか

自転車の二人乗りやかささし運転、右側通行、無灯火、信号無視などによる交通事故が多発しております。

これらの事故はいずれも自転車乗りや歩行者が交通ルールを守っていないためです。

そこで警察では、このような事故を無くし、正しく交通ルールを守ってもらおうと、交通違反をした自転車乗りや歩行者に警告書白



▶二人乗りはあぶないよ

キップ)を渡し、交通違反をしないよう注意することになりました。しかし、この白キップには、法律の定めがなく、罰金を払わなければならないというものではありませんが、罰金を払わなければならないというものはありませんが、特に目にあまる違反や悪質な違反には検挙もするということです。

にせ消防署員に

「消防署員に姿そっくりな消火器売り逮捕」……このような見出しが新聞で見かけました。これは最近県内にもあった事件ですが皆さんも十分注意して下さい。

消防署の職員は必ず消防手帳と身分証を携帯しています。また、消火器などの販売行為はしておりません。

「訪問販売等に関する法律」これは、昨年十二月に施行になった新しい法律ですが、この法律に規制される指定商品には、消火器、消火薬剤、避難器具、ガス洩れ警報器などが含まれており、これら指定商品の販売者は、氏名、会社名、商品の種類を明示し、現金で販売した時には、販売者名、会社名を記載した領収書を必ず渡すことなどが義務づけられています。

不当に高い価格の消火器や不良品を購入してからは遅すぎますので十分ご注意ください。

また、消火器の薬剤交換は消防設備士の免許を持った人でなければできません。免許の提示を求めたから依頼して下さい。

「馬肥ゆる秋」に食生活改善を

体力回復のチャンス

厚生省の「国民栄養調査」によりますと、成人女子の三人に一人は献血もできないほどの貧血症だそうす。

そのなかでも多いのは鉄欠乏性貧血などの栄養性貧血ですが、これはレバー、ひじきなど、栄養を考えた食生活で予防できます。

また、少年、青年、壮年から老年と、年代別に食生活を考えることも、健康のもとです。

暑い夏も残り、体力回復の好機十月は「食生活改善普及運動」月間です。

これを機会に正しい食事の習慣を生活の中に定着させましょう。

また、ごはんをたべると「ふとる」「高血圧になる」「頭が悪くなる」とよくいわれますが、ほんと

《ふるさとの文化財調査年報》

「寺泊・出雲崎」を発行

有償頒布もします

県教育委員会では、このほど海岸地域における歴史、民俗、考古の各分野にわたる文化財調査年報第十六集として、「寺泊・出雲崎」を発行しました。

この「寺泊・出雲崎」は、B5版約二百ページからなるもので、野積の池ノ尻部から出雲崎町勝見に至る約二十キロの海岸地域に残る数多くの海にかかわる文化遺産を資料にして、先の三分野の立場から総合的に調査し、文化財

保護行政の基礎資料としてまとめられたものです。

このなかで歴史編では、町の教育委員会が保存している「御用留」を紹介しており、近世中・後期から幕末・維新期の寺泊町の姿、政治経済構造やそれに伴う廻船手形発行権をめぐる動向、漁業権紛争、佐渡への無宿継送りを御用留の原文とそれをわかりやすくした解説文の両方が記されており、当時の様子が見えよむようになっています。

また、民俗編では、郷本土俗の年中行事を中心に、野積及び磯町のものも補足的に載せながらまとめてあり、今日簡略化、取り止めになっているものが多いこの年中行事の紹介はなにか忘れかけたものを思い起こさせられるようです。

こうした歴史、民俗、考古にわたり総合的にまとめあげられた、「寺泊・出雲崎」を多くの方々から読んでいただくとうと、県教育委員会では、今回有償頒布することになりましたので、購入希望される方は左記へお申し込み下さい。

▽申込み先 町教育委員会 (TEL二四四六)

▽代金 一三〇〇円

歴史散歩 (その一)

寺泊の起りと地名考

寺泊の始まりは、古典神中抄によると、弘仁十三年(西暦八二二年)国分寺の尼僧法光という人が信濃川を渡る人達のために布施屋(現在の無料宿泊施設)を設けて渡船二隻を造り、田んぼ四十町歩でこれの経常費にあてて旅行者を濟渡したことに始まるといわれています。

水駅である国分寺の経営にかかる布施屋がどうして寺泊におかれたか疑問点となっていたが、昨年横滝山発掘調査で宮寺跡地が発見され、寺宇墨書土器や鴟尾片(屋根瓦)が出土して越後国府がここにあったのではないかと、国分寺跡でないかともいわれています。

このように、当時この地域が信濃川の氾濫のために交通路としても重要な地点であったと考えられます。

寺泊開拓の歴史は、奈良朝時代

このころから寺泊の地名は伊神之渡戸浜(これかみのわたへはま)から「泊」といい、その後「寺尾泊」とよばれ、鎌倉時代頃から「寺泊」となったといわれています。

選集抄という西行法師の記されたものに「彼の里は海ほとりにして奥よりの津にて貴賤あつまりて朝の市のごとし、ただ海の魚くず、山のこのみ、絹布の類をうりかうのみならず人馬の類を売買せり云々」という叙景があり、源平の時代から市場としても盛んであったことがうかがわれます。

また、千数年前の東北地方の大部分にはエゾ民族が住んでいました。そして純粋な大和民族とエゾ民族とがせり合っていたのは越後地方でした。

エゾ民族は、元来東北地方に居住していた民族で、出雲民族の経略と共に、遠く奥羽地方から北海道へ立ち去ったのです。

このよふな民族のことから「寺泊」の語源がアイヌ語によるものであるといわれ、アイヌ語で「レラ」は風を表現し、風待ちを意味しており、「トナミ」は山とか岬を表しこれらのことから「レラトナミ」となり「テラドマリ」に転化したという説もあります。



▲精いっぱい体を動かそう!!

健康な心とからだ

寺泊町の社会体育を推進する

社会体育の推進を強化

このたび寺泊町が、国の「スポーツ振興」の指定を受けたのを機会に、体育指導委員及び、学識経験者の方々より、現在の社会体育行政の評価分析をお願いし、今後の基本的な考え方の答申をいただきました。

以下、今後の社会体育の骨子をのべ、ぐらしの中にスポーツををテーマとした体育行政を推進していくことになりましたので、みなさんのご理解とご協力をお願いするとともに積極的な参加を期待いたします。

▽最初に

社会体育とは、地域や職場、そして家庭などの社会集団が健康や体力づくり、心理的欲求の充実、人間関係を豊かにするための意図的、計画的に行う学校教育活動以外の広く一般における体育活動

をいいます。簡単に云えば、誰でも、いつでも、どこでもできる体育活動のことなんです。

▽施策の重点

寺泊町の社会体育を大局的にみた場合、寺泊町部(寺泊小学校区)地域は町体育館を中心として比較的施設面で恵まれていることから、町内(区)またはPTA等で体育活動が自主的、継続的に実施されており、すでにスポーツが生活の中に定着しつつあります。

しかし、大河津地域を始めとして、村部においては、区民運動会など単発的なスポーツ行事があるだけで、町部地域にくらべ、社会体育振興の面でおくれしており、これらの地域のレベルアップが急がれております。

以上のことから、村部を重点地域に定め、指導者の発掘、各種スポーツ教室の開設など、体育行政

の推進を行うことになりました。

▽具体的には
日常的スポーツ活動の基盤となる地域(学区)ごとに、その地域の実情に即したプログラムによるスポーツ教室を開設し、楽しさ、おもしろさを教えながら継続的なスポーツクラブ、または同好会的なクラブへと育てようと考えています。

また、現在まで数多くのスポーツ教室を実施してきましたが、期待するほどのクラブ育成ができませんでした。

この反省から技術的段階に応じた交流大会の開催、フランチアイズ制の必要から、学校体育施設の積極的な開放、指導者の派遣、広報活動の充実など適切な施策を実施いたします。

▽地域スポーツ推進員

前述の考えを基本におきながら事業を推進して行く際にスタッフ

が最大の条件になります。町の体育指導委員はもろろんのこと、別表の方々から具体的な計画作成におけるアドバイザーとして、また地域住民のスポーツ相談員として、広く社会体育の振興に参画願うこととなります。みなさん方の要望など、お気軽にご相談下さい。

地域スポーツ推進員

学区	氏名	推進地域
寺泊学区	解良 浩	金山、松沢町、小川町、上荒町、新道
	中村 興樹	上片町、片町
	柳下 源衛	大町
	諏訪不二雄	上田町
	阿部 徳栄	荒町、下荒町、田町1
	小笠原隆士	坂井町、田町2、磯町
郷本学区	加藤 徹	白岩、港町
	笠原正信	大和田、郷本
	足立 仁	志戸橋、山田
夏戸学区	小林 米子	松田、明ヶ谷
	風間高佐吉	田頭
	長谷川貞一	夏戸
本山学区	遠藤 正一	年友
	滝浪 忠弘	法崎、戸崎、引岡
	白倉 人司	下曾根、川崎
野積学区	和田 孝二	本山、弁才天、箕輪、京ヶ入
	石田 耕二	中曾根、蛇塚、当新田
	河合 久雄	チガヤ、荒谷
大河津学区	藤田 功	中浜、内川
	加藤 光夫	高屋、金沢
	藤井 照雄	池の尻、大野植
	坂井 金一	高内、求草、万善寺
	土田 功平	敦ヶ曾根、北曾根、下中条
	高橋 隆二	新長、小豆曾根
	竹内 了治	新道(竹森)
	星 透	本村(竹森)
	桑原 孔一郎	鯉口、下桐、碓田
	長谷川 敏夫	木島、五分一
山の地区	中村 俊夫	岩方、田尻、町経井
	小林 弘	矢田、入経井

ママさんバレーボール教室



最近どうも疲れるとか小じわがふえた、体力がおちたなど、年齢を感じさせられることはありませんか、とくに農家の主婦は時間的ゆとりが欠け、農婦症の多発や体力が早期低下、生活の無味単調さが問題になっていますが、あなたはいかがでしょう。

- ▽とき 毎週木曜日 午後7時30分から 9時30分まで
- ▽ところ 大河津中体育館
- ▽対象 既婚女性(年齢は問いません)
- ▽指導者 町体育指導員及び寺泊バレーボールクラブ 一人三百円(スポーツ傷害保険代)
- ▽参加料
- ▽申込み 大河津公民館へ



▲大源太キャニオンでの楽しいキャンプ

グループ訪問

フレンドシップ スクール自治会

私達のサークルは、教育委員会が実施している青年学級生徒の集りで、28才未満の独身が条件となっているクラブ活動的な団体です。

会員は現在40名で、明日をめざす青年の自覚・新しい自己の発見をテーマに掲げ、他市町村青年との交歓会、また仲間同志の夢や悩みを語り合っております。

友達もできました。近々にはサークル内で芽ばえた愛をゴールで咲かせる幸せカップルも誕生しました。

先の駅伝大会には、過去例のない女性ランナーを加えたチームを派遣するなど、フレンドシップスクール(友情教室)の親睦団体に恥じないサークルと自負いたしております。

これからは社会奉仕を主な活動とし、すばらしい青春の創造と明日の仲間づくりのために、若さを燃焼してみようと話し合っております。

第二十一回町内めぐり駅伝大会

寺泊町連勝

十月十日の体育の日に、町教育委員会主催の町内めぐり駅伝大会が行われました。

この大会は、今年で二十一回目をかぞえ、年友、夏戸、敦ヶ曾根、本山とまわる十七・八キロのコースを五人の走者で競うもので今年は二十三チーム(一般)の参加があり、寺泊町青年学級チームがは大会史上初の女性ランナーも登場するなど、盛りあがった大会

この日は、絶好のマラソン日和で、午前九時十五分に体育館裏をスタートし、第二区では健走会の志田選手、第五区では大河津中OBの池内選手が区間新記録を樹立するなど、肉薄した好レースが展開され、その結果一区Aチームが昨年優勝タイムを約二分短縮し、優勝しました。



▶新記録でゴールインする大河津中

第21回町内めぐり駅伝大会記録表

Aグループ (昭和52年10月10日)		順位	チーム名	通算記録(17.8K)
1	区 A	1	00	54
2	健走会 A	1	01	16
3	与板高寺泊分校 C	1	03	10
4	戸崎青年団	1	04	05
5	大河津中 O	1	04	22
6	寺泊町役場 A	1	04	30
7	コロニー白岩の里 A	1	04	38
8	萬一友会 B	1	05	09
9	一區 B	1	07	41
10	与板高寺泊分校 B	1	08	12
11	コロニー白岩の里 B	1	08	14
12	コロニー白岩の里 C	1	08	25
13	健走会 B	1	09	06
14	与板高寺泊分校 A	1	10	44
15	コロニー白岩の里 D	1	11	16
16	寺泊町役場 B	1	12	02
17	三島郡民主商工会	1	13	00
18	寺泊町青年学級	1	13	23
19	寺泊町役場 C	1	13	47
20	心和会組	1	13	58
21	中元	1	14	13
22	新生会 B	1	16	54
23	本山 A	1	23	20

Bグループ		順位	チーム名	通算記録(17.8K)
1	大河津中学校 A	59	23	
2	寺泊中学校 A	01	42	
3	寺泊中学校 B	04	38	